

開講年次・時期	1年後期	授業回数	8回	時間数	15時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	子どもと健康Ⅱ	担当者名	棟方 梢 / 小関 潤子
授業の概要	健康な心と体を育て、自らが健康で安全な生活をつく出す力を養う領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を段階的に身につける。5領域を考慮しながら、乳幼児の発育発達に即した身体を使った遊びを考えたり実施して、身についた身体活動が、健康的で安全な生活づくりの基本となるような保育や支援のあり方について考える。				
科目の到達目標	1、幼児期の運動発達の特徴と多様な動きの獲得意義について理解し説明ができる。 2、日常生活における幼児の身体活動の必要性と表出の意味を理解している。 3、幼児期の健康・安全教育についての理解や安全管理の考え方を理解している。 4、子どもの発達や環境に応じた支援者としての援助方法や技術を身に付けている。				
DPの観点	②表現力 20% ⑥専門知識・技能 30% ⑧実践力 20% ⑨主体性 30%				
授業時間外学修(予習・復習)	乳幼児の遊びに興味・関心を持ち、現代の子どもの様子を把握しながら、将来的な指導性への理解に努める。				
フィードバックの方法	レポート課題による履修内容の確認。VTRを使用して動作の振り返りを行う。				
単位認定の要件	自らが積極的に工夫して安全に留意した活動が出来ている。発育発達に応じた支援展開が出来る。				
評価の方法・割合(%)	授業内の活動状況35%/課題の提出35%/授業に取り組む姿勢・意欲30%				
履修上の注意事項	実技時は、動きやすい服装と身だしなみ(髪の毛の長い人は結う)であること。スカートは不可。動きやすいシューズを使用する。提出物は、期日までに提出すること				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1	9/26		運動遊びを通して行う心と体ほぐしの体験と支援展開	④⑦⑩	ミニペーパー
2	10/3		日常生活における身体活動・運動と健康・安全教育との関連の理解	①⑥⑧	グループディスカッション/ミニペーパー
3	#####		身近な素材を使った運動遊び(新聞紙やタオルなど)と支援法	②③⑨	ロイロノート
4	#####		幼児期に多い怪我や事故の特徴と応急処置・疾病の予防について	①⑥⑧	グループディスカッション/ミニペーパー
5	#####		小型移動遊具を使った運動遊び(ボールや縄跳びなど)と支援法	②⑧⑩	ロイロノート
6	11/7		季節や生活体験を基にした表現遊びや運動遊び(絵本や・行事・飼育など)の支援法	②⑧	ミニペーパー
7	#####		健康における運動遊びの重要性と教育的効果意義についてのまとめ	②⑥⑩	レポート作成
8	12/5		発達に即した幼児用リズムダンスの製作と発表・検討	②⑥⑨	VTR/ロイロノート
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験					

使用テキスト	演習保育内容「健康」 基礎的事項の理解と指導法
参考文献 参考URL	保育と幼児期の運動遊び 第2版 萌文書林/ うきうきわくわく身体表現遊び 同文書院/幼児期における運動発達と運動遊びの指導 ミネルヴァ書房
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--